

多様就業型ワークシェアリング制度導入意識調査・ 制度導入状況実態調査結果の概要

【調査の概要】

1. 調査実施期間

- (1) 個人調査 平成 15 年 10 月 2 日～10 月 16 日まで
- (2) 企業調査 平成 15 年 10 月 2 日～11 月 7 日まで

2. 調査対象

- (1) 個人調査 20～50 歳代の男女各 1,250 人を地域・年齢・性別等による一定の分布基準（国勢調査の構成比）から抽出。
- (2) 企業調査 全業種の従業員数 300 名以上の全上場・店頭公開及び非上場企業 5,630 社

3. 調査方法 通信調査

4. 回収状況

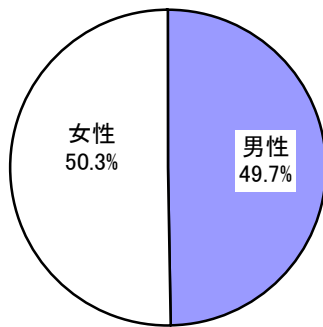
- (1) 個人調査 有効回答数 2,166 件（86.6%）
- (2) 企業調査 有効回答数 646 件（11.5%）

【個人調査】

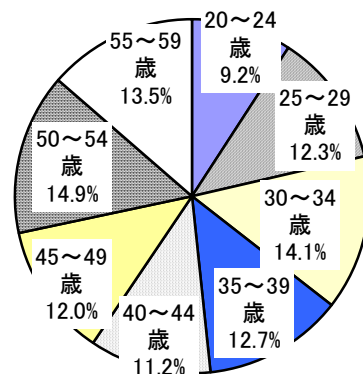
1. 回答者の属性

回答者の性別、年齢、家族構成、就業状況・形態、職種は、以下のとおりである。

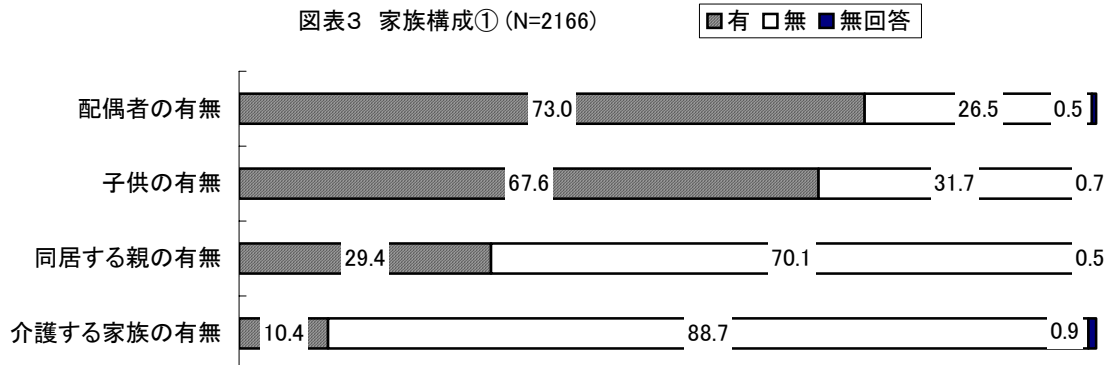
図表1 性別 (N=2166)



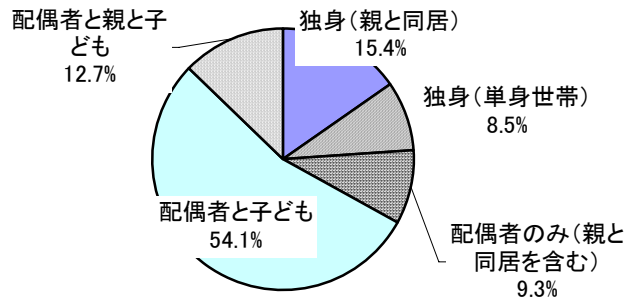
図表2 年齢構成 (N=2166)



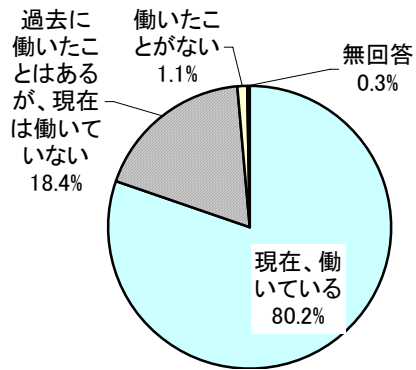
図表3 家族構成① (N=2166)



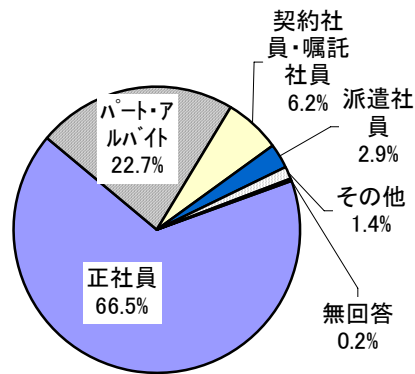
図表4 家族構成② (N=2070)



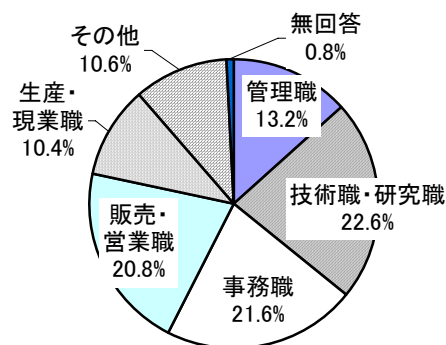
図表5 就業状況 (N=2166)



図表6 就業形態 (N=1737)



図表7 職種 (N=1737)

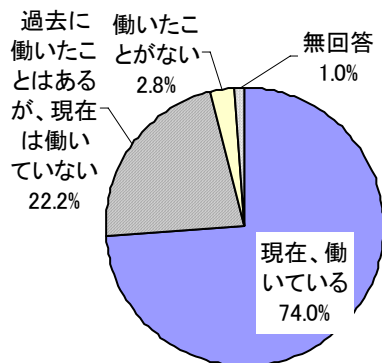


(注) 就業形態及び職種は、「現在、働いている」と回答した者の状況である。

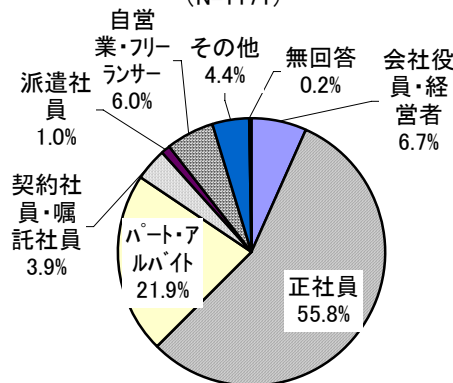
2. 回答者の配偶者の就業状況

回答者のうち配偶者ありと回答した者の配偶者の就業状況・形態は、以下のとおりである。

図表8 配偶者の就業状況
(N=1582)



図表9 配偶者の就業形態
(N=1171)



3. 多様な働き方に対する希望

ライフステージ別にみた回答者自身及び回答者の配偶者に対する多様な働き方への希望と、現時点での回答者の多様な働き方に対する希望は以下のとおりである。

(1) ライフステージ別にみた回答者自身の多様な働き方の希望

①短時間正社員

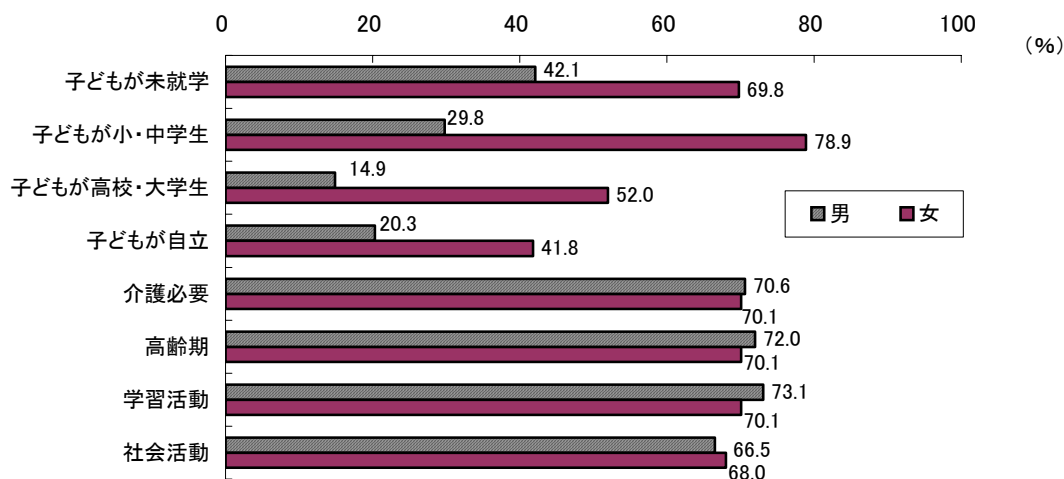
ライフステージ別にみた「短時間正社員」（働く時間が短い正社員）に対する希望（「希望する」及び「どちらかと言えば希望する」の合計）をみると、「学習活動に取り組みたい時期」（71.6%）、「高齢期」（71.0%）、「介護を必要とする家族がいる時期」（70.3%）のニーズが大きい。性別にみると、男性は「学習活動に取り組みたい時期」、「高齢期」、「介護を必要とする家族がいる時期」が7割以上を占め、女性は「子どもが小・中学生の時期」が78.9%で最も高く、「介護を必要とする家族がいる時期」、「高齢期」、「学習活動に取り組みたい時期」、「子どもが未就学の時期」が約7割となっている。また、男女とも低年齢層ほど「子どもが未就学の時期」、「子どもが小・中学生の時期」のニーズが高い。

図表10 ライフステージ別にみた回答者自身の「短時間正社員」に対する希望(性・年齢別)

(単位: %)

		TOTAL (件数)	子どもが 未就学	子どもが 小・中学生	子どもが 高校・大 学生	子どもが 自立	介護必要	高齢期	学習活動	社会活動
全体		2166	56.0	54.5	33.6	31.1	70.3	71.0	71.6	67.2
【性別】										
男		1076	42.1	29.8	14.9	20.3	70.6	72.0	73.1	66.5
女		1089	69.8	78.9	52.0	41.8	70.1	70.1	70.1	68.0
【年齢別】										
20歳代		466	65.3	58.8	33.9	27.0	69.1	68.0	72.5	64.0
30歳代		582	60.8	57.9	34.7	28.7	72.7	73.2	73.2	66.3
40歳代		503	54.1	56.2	33.6	35.2	73.5	73.6	75.3	74.3
50歳代以上		615	46.1	46.6	32.2	33.4	66.3	69.1	66.3	64.7
男性	20歳代	222	53.1	32.4	14.9	17.6	64.9	66.2	73.0	58.5
	30歳代	286	46.1	29.3	14.7	17.5	70.3	73.4	74.5	62.6
	40歳代	255	39.7	32.9	15.7	24.7	73.4	73.4	75.7	74.9
	50歳代以上	313	32.6	25.9	14.7	21.4	72.5	73.8	70.0	69.0
女性	20歳代	244	76.2	82.8	51.2	35.6	72.9	69.6	72.1	68.9
	30歳代	295	74.9	85.4	54.3	39.6	74.9	73.2	72.2	70.2
	40歳代	248	69.0	80.2	52.0	46.0	73.8	73.8	75.0	73.8
	50歳代以上	302	60.3	68.2	50.3	45.6	59.9	64.3	62.6	60.3

図表11 性別・ライフステージ別にみた回答者自身の「短時間正社員」に対する希望



②在宅勤務

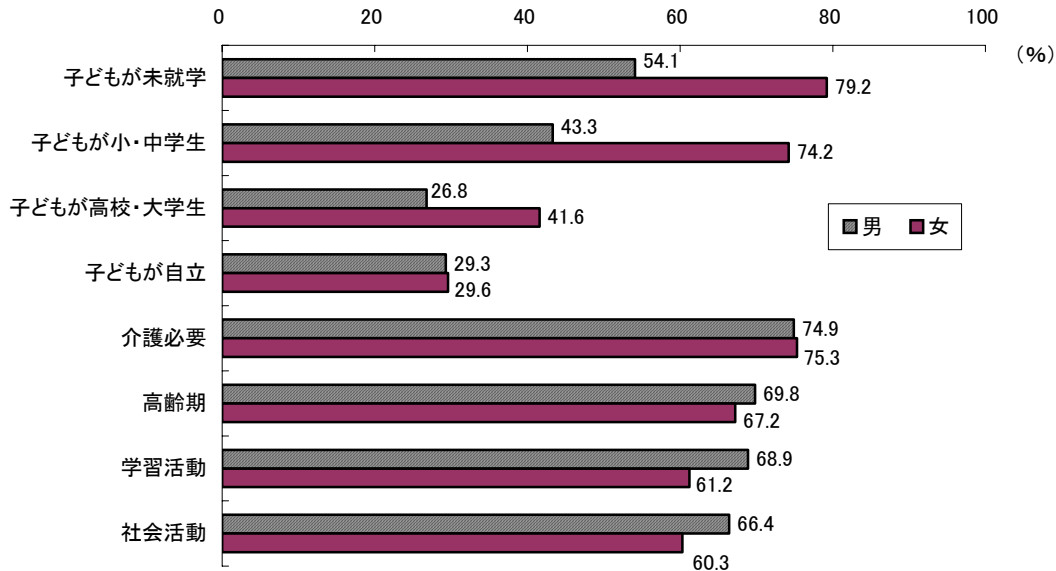
ライフステージ別にみた「在宅勤務」に対する希望をみると、「介護を必要とする家族がいる時期」が75.1%で最も高く、次いで「高齢期」(68.5%)、「子どもが未就学の時期」(66.7%)、「学習活動に取り組みたい時期」(65.0%)となっている。性別にみると、男性は「介護を必要とする家族がいる時期」が74.9%で最も高く、次いで「高齢期」「学習活動に取り組みたい時期」が7割近くになっているのに対し、女性は「子どもが未就学の時期」が79.2%で最も高く、「介護を必要とする家族がいる時期」とともに「子どもが小・中学生の時期」も7割を超えている。また、男女とも低年齢層ほど「子どもが未就学の時期」のニーズが高い。

図表12 ライフステージ別にみた回答者自身の「在宅勤務」に対する希望(性・年齢別)

(単位: %)

		TOTAL (件数)	子どもが 未就学	子どもが 小・中学生	子どもが 高校・大 学生	子どもが 自立	介護必要	高齢期	学習活動	社会活動
全体		2166	66.7	58.9	34.3	29.4	75.1	68.5	65.0	63.3
【性別】										
男		1076	54.1	43.3	26.8	29.3	74.9	69.8	68.9	66.4
女		1089	79.2	74.2	41.6	29.6	75.3	67.2	61.2	60.3
【年齢別】										
20歳代		466	73.8	60.9	35.0	29.8	77.5	69.3	64.2	60.1
30歳代		582	70.1	62.2	36.2	30.8	77.0	68.9	67.2	63.4
40歳代		503	65.8	59.7	36.8	32.2	75.3	70.6	69.6	68.4
50歳代以上		615	59.0	53.6	29.7	25.5	71.4	65.9	60.0	61.4
男 性	20歳代	222	59.0	43.7	26.6	27.5	72.5	67.5	64.4	60.8
	30歳代	286	58.8	47.9	31.5	33.5	75.9	69.6	72.8	66.8
	40歳代	255	56.0	45.5	31.0	33.8	77.7	72.9	74.9	72.2
	50歳代以上	313	44.7	37.0	19.2	23.0	73.5	69.0	63.6	65.2
女 性	20歳代	244	87.3	76.7	42.6	32.0	82.0	70.9	63.9	59.4
	30歳代	295	81.0	75.9	40.7	28.1	77.9	68.1	61.7	60.0
	40歳代	248	75.8	74.2	42.7	30.7	72.9	68.2	64.1	64.5
	50歳代以上	302	73.9	70.9	40.7	28.2	69.2	62.6	56.3	57.6

図表13 性別・ライフステージ別に見た回答者自身の「在宅勤務」に対する希望



(2) ライフステージ別に見た配偶者に対する多様な働き方の希望

①短時間正社員

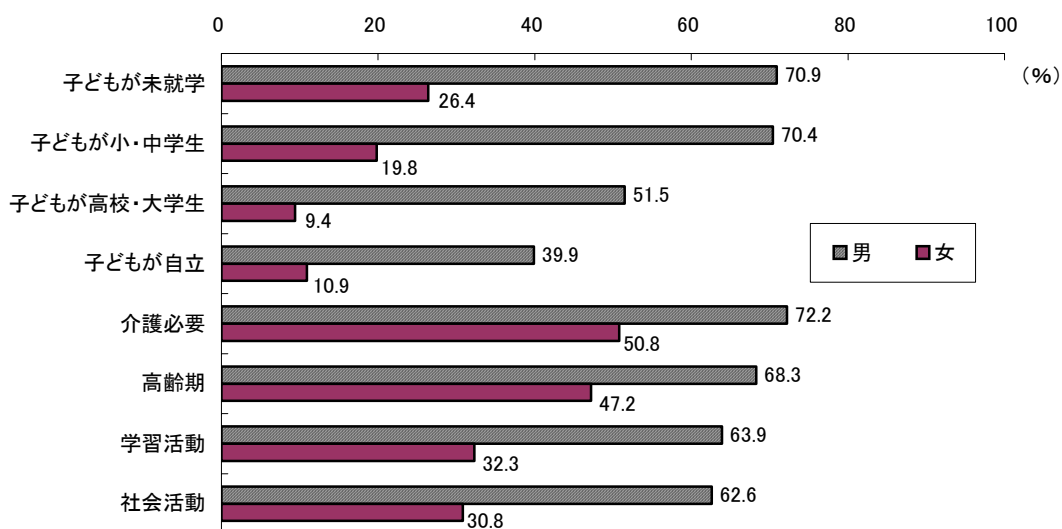
ライフステージ別に見た配偶者に対する「短時間正社員」の希望をみると、「介護を必要とする家族がいる時期」が61.5%で最も高く、次いで「高齢期」(57.7%)、「子どもが未就学の時期」(48.4%)となっている。性別にみると、男性は、全てのライフステージにおいて女性よりも配偶者(妻)に対して短時間正社員を希望する傾向が強く、特に「子どもが未就学の時期」「子どもが小・中学生の時期」で男女の差が顕著である。年齢別では、20歳代の女性は他の世代よりも「子どもが未就学の時期」「子どもが小・中学生の時期」で配偶者(夫)に対する短時間正社員の希望が強い。

図表14 ライフステージ別に見た配偶者に対する「短時間正社員」に対する希望(性・年齢別)

(単位: %)

		TOTAL (件数)	子どもが 未就学	子どもが 小・中 学生	子どもが 高校・大 学生	子どもが 自立	介護必要	高齢期	学習活動	社会活動
全体		2166	48.4	44.8	30.3	25.3	61.5	57.7	48.0	46.6
【性別】										
男		1076	70.9	70.4	51.5	39.9	72.2	68.3	63.9	62.6
女		1089	26.4	19.8	9.4	10.9	50.8	47.2	32.3	30.8
【年齢別】										
20歳代		466	54.9	49.5	30.5	23.6	60.3	56.6	47.9	42.7
30歳代		582	49.3	44.7	31.1	25.4	61.6	57.8	46.4	43.4
40歳代		503	50.1	46.7	31.2	24.8	66.2	61.2	48.9	49.9
50歳代以上		615	41.4	40.0	28.6	26.8	58.2	55.6	48.9	49.9
男性	20歳代	222	74.3	73.4	50.0	37.9	70.2	66.2	65.3	57.2
	30歳代	286	75.2	73.8	56.6	43.0	73.1	68.5	64.0	61.2
	40歳代	255	74.9	73.7	52.9	39.7	79.2	73.3	67.1	69.0
	50歳代以上	313	61.3	62.3	46.6	39.0	67.1	65.5	60.4	62.6
女性	20歳代	244	37.3	27.9	12.7	10.6	51.2	48.0	31.9	29.5
	30歳代	295	24.4	16.6	6.5	8.5	50.6	47.1	29.5	26.4
	40歳代	248	24.6	18.9	8.8	9.6	52.8	48.8	30.3	30.3
	50歳代以上	302	20.9	16.9	9.9	14.3	49.0	45.4	37.0	36.8

図表15 性別・ライフステージ別に見た配偶者に対する「短時間正社員」の希望



②在宅勤務

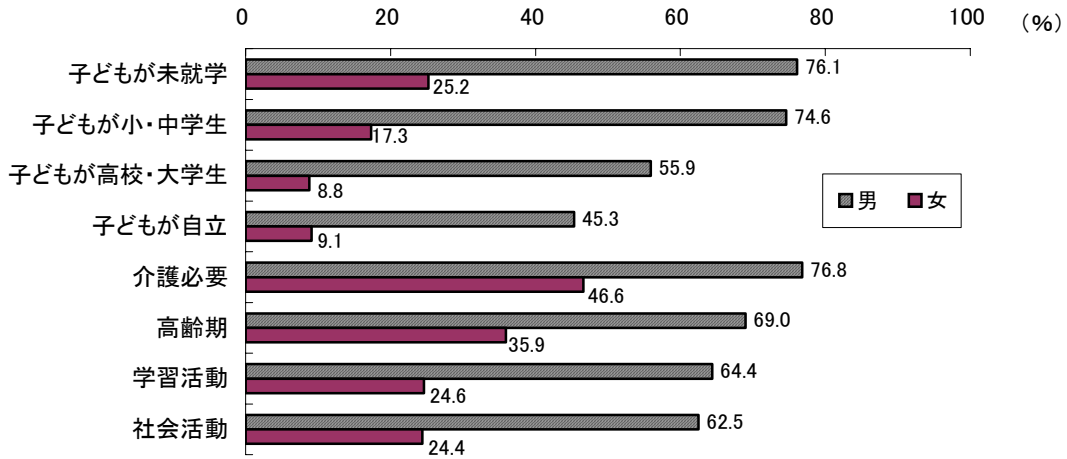
ライフステージ別に見た配偶者に対する「在宅勤務」の希望をみると、「介護を必要とする家族がいる時期」が61.6%で最も高く、次いで「高齢期」、「子どもが未就学の時期」が約5割となっている。性別にみると、男性は、全てのライフステージにおいて配偶者（妻）に対して在宅勤務を希望する傾向が強い。

図表16 ライフステージ別に見た配偶者に対する「在宅勤務」に対する希望(性・年齢別)

(単位:%)

		TOTAL (件数)	子どもが 未就学	子どもが 小・中 学生	子どもが 高校・大 学生	子どもが 自立	介護必要	高齢期	学習活動	社会活動
全体		2166	50.5	45.7	32.3	27.1	61.6	52.4	44.3	43.3
【性別】										
男		1076	76.1	74.6	55.9	45.3	76.8	69.0	64.4	62.5
女		1089	25.2	17.3	8.8	9.1	46.6	35.9	24.6	24.4
【年齢別】										
20歳代		466	52.2	46.8	32.0	26.8	59.5	53.6	42.9	39.7
30歳代		582	53.8	48.3	34.9	29.5	61.3	52.1	44.0	43.2
40歳代		503	50.1	45.4	33.8	28.0	67.4	54.6	47.5	46.9
50歳代以上		615	46.4	42.8	28.6	24.0	58.9	49.7	43.2	43.3
男性	20歳代	222	75.2	76.5	55.8	45.1	74.8	67.1	62.6	57.2
	30歳代	286	81.1	78.4	60.1	50.7	79.0	71.0	68.2	65.4
	40歳代	255	79.6	76.5	60.3	48.2	83.2	73.7	70.2	69.8
	50歳代以上	313	69.3	68.0	48.6	38.0	70.9	64.6	57.5	57.5
女性	20歳代	244	31.2	19.6	10.3	10.3	45.5	41.4	25.0	23.7
	30歳代	295	27.4	19.3	10.6	9.1	44.0	33.6	20.6	21.7
	40歳代	248	19.8	13.3	6.4	7.2	51.2	35.1	24.2	23.4
	50歳代以上	302	22.5	16.5	7.9	9.6	46.3	34.5	28.5	28.5

図表17 性別・ライフステージ別にみた配偶者に対する「在宅勤務」の希望



(3) 現時点での多様な働き方に対する希望

現時点での回答者の多様な働き方に対する希望は以下のとおりである。

①短時間正社員

現時点での短時間正社員の希望派（「希望する」と「どちらかと言えば希望する」の合計）は、37.3%となっている。性別にみると、女性は希望派が52.4%と半数を超える一方、男性は「希望しない」が54.3%となっている。また、年齢別にみると、30歳代の女性は希望派が62.4%と最も高くなっている。なお、20歳代の男性では25.3%と4分の1以上が希望している。

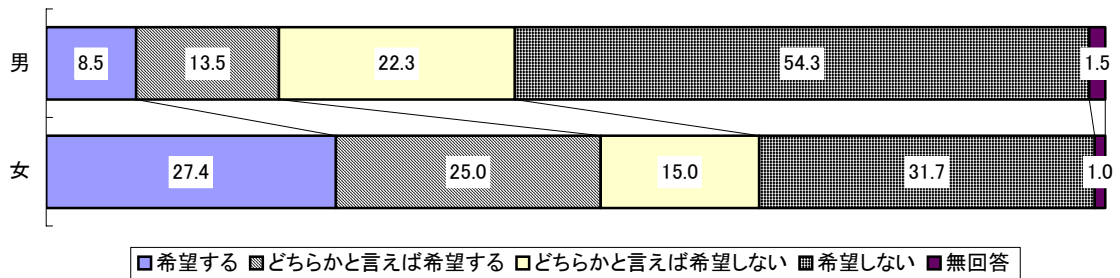
図表18 現時点の「短時間正社員」に対する希望(性・年齢別)

(単位: %)

		TOTAL(件数)	希望する	どちらかと言えば希望する	どちらかと言えば希望しない	希望しない	無回答	希望指数(点)
全体		2166	18.0	19.3	18.6	42.9	1.2	2.13
【性別】								
男		1076	8.5	13.5	22.3	54.3	1.5	1.76
女		1089	27.4	25.0	15.0	31.7	1.0	2.49
【年齢別】								
20歳代		466	12.0	18.0	21.0	48.1	0.9	1.94
30歳代		582	20.4	22.0	22.5	34.7	0.3	2.28
40歳代		503	19.1	19.7	16.1	44.5	0.6	2.13
50歳代以上		615	19.2	17.4	15.1	45.4	2.9	2.11
男性	20歳代	222	10.4	14.9	23.4	50.9	0.5	1.85
	30歳代	286	7.0	14.7	28.3	49.7	0.3	1.79
	40歳代	255	7.1	11.8	21.6	58.8	0.8	1.67
	50歳代以上	313	9.6	12.8	16.6	57.2	3.8	1.74
女性	20歳代	244	13.5	20.9	18.9	45.5	1.2	2.02
	30歳代	295	33.6	28.8	16.9	20.3	0.3	2.76
	40歳代	248	31.5	27.8	10.5	29.8	0.4	2.61
	50歳代以上	302	29.1	22.2	13.6	33.1	2.0	2.48

(注)「希望指数」は、「希望する」×4点+「どちらかと言えば希望する」×3点+「どちらかと言えば希望しない」×2点+「希望しない」×1点を、「無回答」を除く全体で除した値。(図表20も同じ。)

図表19 性別・現時点での多様な働き方の希望(短時間正社員)



②在宅勤務

現時点での在宅勤務の希望派(「希望する」と「どちらかと言えば希望する」の合計)は、38.9%となっている。性別にみると、希望派は男性が37.2%、女性は40.6%で、女性の方がやや希望が強い。また、年齢別にみると、女性の30歳代で希望派が51.9%と半数を超え、最も高い。

図表20 現時点の「在宅勤務」に対する希望(性・年齢別)

(単位:%)

		TOTAL (件数)	希望する	どちらかと言 えば希望す る	どちらかと言 えば希望し ない	希望しない	無回答	希望指数 (点)
全体		2166	16.5	22.4	20.3	40.1	0.7	2.15
【性別】								
男		1076	15.9	21.3	19.3	42.5	1.0	2.11
女		1089	17.1	23.5	21.1	37.8	0.5	2.20
【年齢別】								
20歳代		466	16.7	20.4	19.5	43.1	0.2	2.11
30歳代		582	20.6	28.4	20.6	30.2	0.2	2.39
40歳代		503	15.9	22.9	20.1	40.4	0.8	2.15
50歳代以上		615	12.8	17.9	20.7	47.0	1.6	1.96
男性	20歳代	222	18.0	17.1	19.8	44.6	0.5	2.09
	30歳代	286	18.5	27.6	19.2	34.3	0.3	2.30
	40歳代	255	18.4	23.1	17.6	39.6	1.2	2.20
	50歳代以上	313	9.9	16.9	20.4	50.8	1.9	1.85
女性	20歳代	244	15.6	23.4	19.3	41.8	0.0	2.13
	30歳代	295	22.7	29.2	21.7	26.4	0.0	2.48
	40歳代	248	13.3	22.6	22.6	41.1	0.4	2.08
	50歳代以上	302	15.9	18.9	20.9	43.0	1.3	2.08